

鶺鴒かわら版

平成30年6月・初夏号

No. 47



前田・東急・植木 特定共同企業体 鶺鴒川ダム作業所

作業所長 一ノ瀬 高司

電話 0257-31-4780



トピックス



5月20日(日)に行われた
柏崎潮風マラソンに参加
させていただきました。
中盤で足が痛くなり、大
変苦しかったです。皆
様のご声援のおかげもあ
りなんとかフルマラソン完
走することができました。
(一ノ瀬)

ごあいさつ

皆さんこんにちは、所長の一ノ瀬です。

6月に入り、暑い日もあれば、涼しい日もあるようになりました。皆さん体調を崩されないよう
ご自愛ください。

今年3月中旬から除雪を開始し、4月より施工を開始しております。今年度はいよいよダム
堤体の盛立を開始してまいります。また洪水吐のコンクリート構造物の施工も着々と進んで
おり、減勢部と導流部の2か所並行しながら施工しており、6月に入り各工事最盛期を迎えて
いるところです。

工事最盛期に伴い、国道353号での生コン車やダンプの往来も多くなり、地元の皆様方
にはご迷惑をおかけしているところですが、安全運転で事故の無いよう注意してまいります
のでご協力よろしくお願いいたします。

今後も「鶺鴒かわら版」を通じて、工事の内容や鶺鴒川地区の情報を発信していきますので、鶺
鴒川ダムの建設にご理解、ご協力をお願い申し上げます。

工事進捗状況(平成30年5月撮影)



ダム豆知識 ～ドローン導入～



今年より企業体にてドローンを導入し
ました。上空300mまで上昇し、航空写
真の撮影や3次元測量に使用してい
ます。左の写真もドローンで撮影し
たものです。

なお、現場内でのみ飛行しますので
皆さんの自宅に落ちてくる心配はあり
ません。ご安心ください。

上の写真はドローンで撮影した現場の状況です。

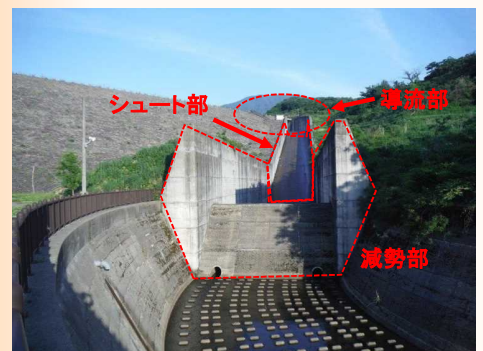
【洪水吐】去年までは洪水吐減勢部を施工しておりましたが、今年は減勢部の施工を引き続
き行くと共に、導流部、シュート部の施工も並行して進めていきます。

【河床部堤体盛立工】もともと鶺鴒川の流れていた場所であるため、そのままダムの堤体を盛立
てると水を通しやすい状態となります。このため、現在、ダムの堤体が岩盤と密着して水を通
さないように、岩盤をきれいにしてから、岩石や土で堤体の盛立を行っています。

【右岸側基礎処理工】ダム右岸側斜面に足場を組んで、ボーリングマシンを設置し基礎地盤
にセメントミルクを注入し、水を通しにくくして、コアが流出しないように対策を行っています。
またダムの両側にあるリムトンネル内でも基礎処理工を実施しています。



↑洪水吐シュート部の岩盤を露出させ、土などの
不純物を取り除いてからコンクリートを打設します。



↑【参考】柿崎川ダム(上越市柿崎区)洪水吐



←左岸リムトンネル内にボー
リングマシンを設置し、基礎
処理工を実施しています。